

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所属・職・氏名	洲本市立洲浜中学校 養護教諭 小川 周子	研究グループ名 (洲浜中生を考える会)
-------------	-------------------------	--------------------------

研究テーマ分類番号 (4)

(1)研究テーマ
継続できる中学生への生・性教育の模索 ～ピアカウンセリングの普及～
(2)研究経過及び具体的な取組
<p>6月 ピアカウンセリング実施に向けての打ち合わせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内 容： 大人向けピアカウンセリングを洲本市学校保健会研修会において実施するために同会事務局と打ち合わせおよび連絡調整をする。 神戸市看護大学健康生活看護学領域ウィメンズヘルス看護学教授及び同大学3回生ピアカウンセラーの代表者との打ち合わせ。 <p>9月 アンケートの実施・集約及び大人向けピアカウンセリングに向けた準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内 容：本校でピアカウンセリングを受けた3年生にアンケートをとり、結果をまとめる。実施状況と3年生の感想を保健だよりでまとめ、1月の研修会においても配布できるように準備する。大人向けピアカウンセリングを見た人へのアンケート用紙を準備。 ・結 果：3年生アンケート結果をまとめた保健だよりを9月に配布。 参加者は、ピアカウンセリングの長所・短所・疑問および実施してみたいと思うか・実施するのに困難なことは何かを記述式で回答。 <p>11月 ピアカウンセリング実施に向けた調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内 容：実施予定の確認を教授・ピアカウンセラー代表・洲本市学校保健会事務局と確認する。 ・実施に向けて： 実施日 平成25年1月下旬 対象者 洲本市内小学校(13校)中学校(5校)から各校教職員2～3名 PTA 2～3名出席。 (平成21年度においても同様の大人向けピアカウンセリングを実施しているため、一度も見聞したことがない教職員の参加を要請。) 方 法 教授がナビゲート役としてナレーションを含め、ピアカウンセラー9名で実施。 実施希望校の職員に活用できるようピアカウンセリングの実際をビデオ撮影する。 <p>内 容</p> <p>(1)自分の将来について考える</p> <p>自分のライフラインを書く(横軸が年齢、縦軸がハッピー度)。グループ内で自分のライフラインを発表し合う。</p> <p>人によって違うことを知る</p>

(2) 仲間からのプレッシャーへの対応

この項目を改めて設けることができず、各セッションの中にもりこみ、“自分らしさ”“お互いの尊重”ということを確認して進行している。友人の中で自分だけ、他の人と意見が違う場合はどうするか？みんなに合わずか、それとも自分の意見を持てるか？人それぞれ違うので、必ずしもみんなと同じでなくていいことを知る。

(3) デートDV

劇を見ながら、デートDVとは何かを知る。自分の意志表現の大切さ、自分の行動を自己決定することの大切さを知る。

(4) 性感染症について

1名のコップには水+試薬、他の人には水のみを入れる。3人の人と水を半分ずつ交換していき、最終には、全員に試薬を入れて水が着色するかどうかを見る。着色した人が多いことで性感染症の広がりを疑似体験する。自分の性行動への自己決定の大切さを知る。